



モーツァルト生誕 250 年記念

「モーツァルトの自筆譜 (K185)」展

ごあいさつ

聖徳大学人文学部音楽文化学科においては、クラシック音楽を基礎に、現代社会で幅広く活躍できる音楽家、舞踏家、音楽教育者、音楽療法家などの育成に努めています。その教育の一環として、実物資料を教材として取り上げ学生に体験させています。そのため、教育用のコレクションを、わが国はもとより、世界のあらゆる地域から収集しております。特に、音楽関係資料については丹念な収集に努めており、本学の教育学術資料コレクションの中核を占めています。なかでもモーツァルトの自筆譜や著名音楽家の書簡などは大変貴重な資料です。

本年はモーツァルト生誕 250 年にあたります。この偉大な音楽家モーツァルトの生誕の地であるオーストリアのザルツブルクでは、さまざまな催し物が開催されておりますが、本学では「モーツァルト in 聖徳 2006」を展開し、国際シンポジウムやコンサートなど数多くの行事を追憶します。その一環としてここに本学所蔵の音楽資料の一部を公開いたします。

今回展示しますモーツァルトの自筆譜 (K.185) は、彼が3度目のウィーン旅行の途にあった1773年7月に発表された作品で、ザルツブルク大学の修了式で演奏された音楽です。

この機会により深く音楽を理解され、音楽のすばらしさを知り、心の安らぎが得られることを願っております。

平成18年10月10日

学校法人東京聖徳学園理事長
聖徳大学学長
聖徳大学短期大学部学長

学園長 川並弘昭

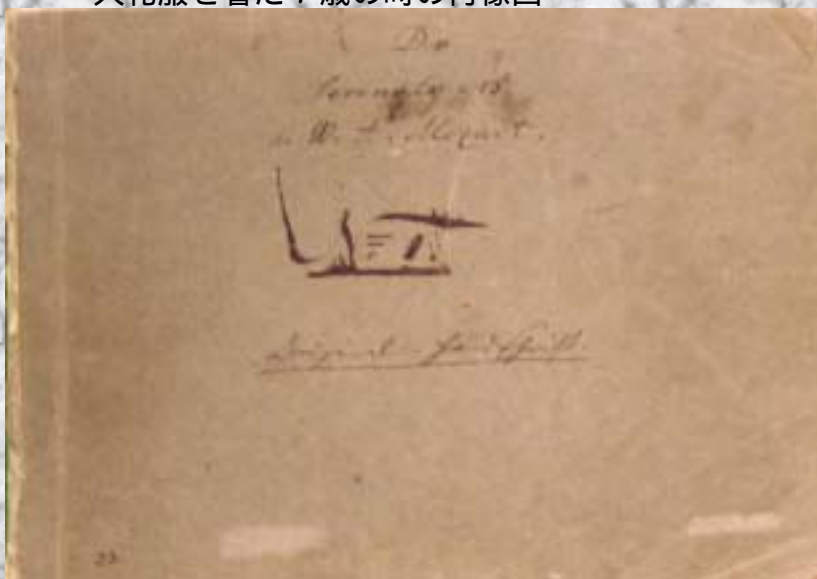
ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756~1791)



大礼服を着た7歳の時の肖像画



没後に描かれた肖像画



表紙

「セレナード 二長調」(K 185)

モーツァルトのこの自筆の楽譜は、7楽章で構成されているセレナードの第1楽章と第7楽章の部分で1773年7月頃、17歳の時にウィーンで作曲された。当時はモーツァルトの父レオポルトが息子のために宮廷での地位を得ようと奔走していた時期でもあった。この曲はザルツブルク大学の修了式で演奏された音楽である。



第1楽章(1ページ)





第1楽章 (2ページ)



第7楽章 (終楽章) 1ページ



第7楽章 (2,3ページ)



モーツァルト生誕 250 年を記念して世界各地で発行された記念切手



モーツァルト（オーストリア 1756～1791）

幼いときから神童と呼ばれ、5歳で宮廷付き作曲家であった父レオポルト（ザルツブルグ大司教の宮廷楽団に44年在籍し、副楽長も務めた）からピアノを習い、6歳の時に最初の小曲「メヌエット」を作曲し、8歳の時に交響曲を作曲する。早くから各地の演奏旅行に出かけ、6歳の時にはミュンヘンで選帝侯マクシミリアン3世の前で演奏、続いてウィーンのシェーンブルン宮殿では女帝マリア・テレジア一家を前に演奏した。この時、キスをしてもらうために女帝の膝の上に飛び乗ったとか、転んだモーツァルトを抱き起こしたのは王女マリア・アントニア、のちのマリー・アントワネットであったというエピソードもある。以後、モーツァルトは旅また旅の生活に明け暮れるようになる。

このように各地の演奏で成功を収めた彼は、11歳頃から作曲活動にも手を広げ、オペラ「バスティアンとバスティエンヌ」を発表する。1772年、16歳の時からザルツブルグ宮廷楽団のコンサート・マスターとして雇われるが、それにもかかわらず各地で演奏興行をしていたために、ついに1780年にザルツブルグの大司教に呼びつけられ、辞表を提出する事態となる。この後はフリーの作曲家としてウィーンでピアノ教師、音楽会の開催、作品出版などを主な収入源として生活した。しかし、次第に人気も下火になり、家計も苦しくなる。

1791年には、オペラ「魔笛」の創作に着手する。この作品は匿名で依頼された「レクイエム」、プラハのためのオペラ「ティート帝の仁慈」で中断されながらも初演され、その直後「クラリネット協奏曲」を作曲したが、11月に病で倒れ、「レクイエム」の完成を見ないまま35歳の若さでこの世を去った。

モーツァルトは音楽の世界で古典的形式を整え、新しい器楽形式を確立した。また、完全無比の音楽を創造し、古典音楽の美の神髄を発揮する不朽の名作を数多く残した。ハイドンと並び、古典派音楽の完成者といわれる。

今回展示のセレナードをはじめとして交響曲、協奏曲、室内楽曲、ピアノ曲、オペラ、教会音楽など多岐にわたっている。モーツァルトの作品を整理したケツヘルによれば、その数は626曲に及ぶ。なかでも最大の功績はイタリア・オペラ全盛の中にあって、ドイツに古くから伝わる歌芝居の伝統を生かし、ドイツ・オペラの道を拓いたことであった。オペラ作品として「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」などが知られるが、そのほかにも「交響曲 第40番 ト短調」「交響曲 第41番 八長調《ジュピター》」や「ピアノ協奏曲《戴冠式》」など、著名な作品が多い。

モーツァルト in 聖徳2006

SEI
MOZART
2006
KU

主催：聖徳大学

後援：オーストリア大使館、ドイツ連邦共和国大使館、オーストリア政府観光局



ドイツ観光局、松戸市教育委員会、日墺文化協会、日本音楽表現学会、日本モーツァルト愛好会

協力：日本モーツァルト研究所

会 期：平成18年10月10日（火）～平成19年4月28日（土）
午前9時～午後5時（休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日）
会 場：聖徳大学8号館 ギャラリー
会場への案内：JR・新京成線とも松戸駅下車、東口より徒歩5分

発行・お問い合わせ：聖徳大学川並記念図書館

T e l : 047 - 365 - 1111 (大代)